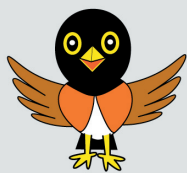


こっこめ通信 06 2003

「マナーを守って！」号



八丈島ではアカコッコの事を親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

GWは素晴らしい天候に恵まれたにもかかわらず、観光客の数はとても少なく少し残念でした。その後は梅雨に入ってしまったのかと思える雨降りの日が続きましたが、これを待っていたかのように発光キノコたちが光り始めてきました。また、ホトトギスもいつもと変わらず中旬には大きな声でさえずりを聞かせてくれました。

さて今回は、「昆虫採集と住民トラブル」とGWに行った「八丈富士ハイキング」のお話です。

昆虫採集と住民の悩み



海洋島の八丈島にも、色々な昆虫が棲んでいます。これらの昆虫たちは、自力で島まで渡ってきたもの、流木によって渡ってきたもの、人間の持ち込んだものと一緒に入り込んだものなど様々です。そして島の環境に適応するために色々と生態を変えていきました。

島を代表する「ハチジョウノコギリクワガタ」は、八丈島固有のクワガタムシで5月になると見られるようになります。昼間はほとんど活動せず、夕方から早朝にかけて地上を徘徊します。翅を持っていますが飛ぶことがなく、アゴが小さいのも特徴です。

写真上はオオバヤシャブシの根元から出てこうとしていたハチジョウノコギリクワガタの♂、写真中は倒木の裏側にいたハチジョウノコギリクワガタの♀です。

これらの島独特の昆虫を採集しに島外からたくさんの方が訪れます。道路以外は私有地であり、入ってほしくない住民との間にトラブルが発生しています。もちろんこのようなトラブルを起こすのは一部の採集者であり、すべての人に問題があるわけではありません。昆虫を採集することに問題があるのではなく、何処で、どのようにして採集するかに問題があるのです。畑に入り、土留めを返したり、植えてある作物を踏み荒らしたりと、所有者には死活問題になることもあるようです。

下の写真の場所はある地区の畑の入り口です。以前この所有者は虫を採集するのは構わないと話していました。しかし心無い採集者がいたため、今では立ち入りを禁じているそうです。

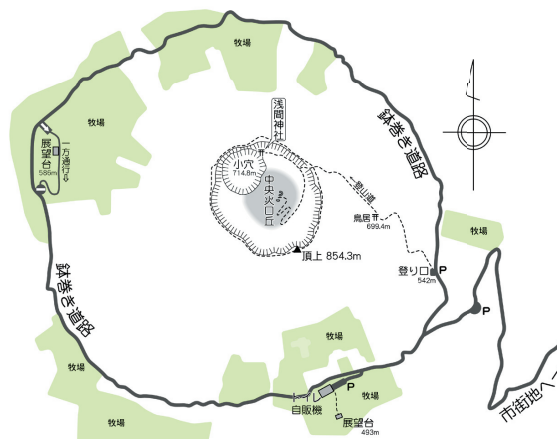
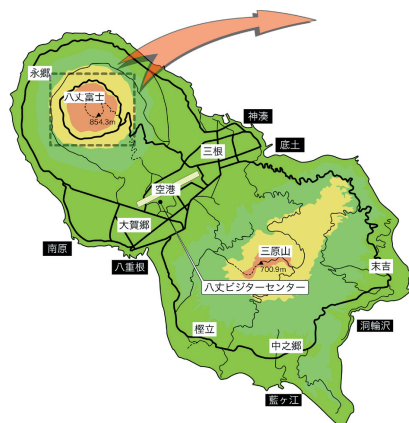
これからさらに昆虫採集をする人は増えてくると思います。マナーをしっかりと守って、島を楽しんでもらいたいものです。

「アカコッコ」とは日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物にも指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

晴天下の八丈富士ハイキング

GWの4月29日、毎年恒例の「八丈富士ハイキング」が行われました。毎雨天候が思わしくない行事でしたが、今年はこれ以上の天気はないといえるほど良い天気に恵まれました。

コースは、鉢巻き道路登山口から登山道を上り、伊豆諸島で一番高い場所「八丈富士の頂上」を目指します。そしてそのままお鉢を一周してから、中央火口丘の池へと足をのぼし、最後に浅間神社でお参りして下山しました。



今年の参加者は15名。ほとんどが島内の方でしたが、ホテルでパンフレットを見た方も何名か参加してくれました。天気も良く、気温も暑くもなく寒くもなく、気持ちよくすべてのコースを回ることができました。

登山道には、逃げ出し野生化した山羊の糞がたくさんあり、少し歩きづらくもありましたが、約1時間でお鉢との合流地点までたどり着きました。途中には、白くかわいい「ツボスミレ (写真左下)」や伊豆諸島変種の「ハチジョウウドリ」なども見られました。お鉢の道はひとひとり通れる狭い道 (写真左上) で、所々危険な場所もありますが、青い空と海がそんなことを忘れさせてくれます。伊豆諸島特産の「シマタヌキラン (写真右上)」もたくさん見られましたよ。

中央火口丘の池の中では元気にオタマジャクシが泳いでいました。このオタマジャクシはアカガエルの子ですが、どのような経緯でこの火口に棲んでいるのか分かっていません。島に棲む生きものたちが、どうやって島にやってきたか考えると不思議がいっぱいですね。

来年もこの行事は行う予定です、次回はぜひ参加してみてください。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 5 月 11 日に観察会を行いました。下の表が調査記録です。

八丈植物公園季節調査（平成 15 年第 5 回）

平成 15 年 5 月 11 日（日） 13 時 30 分～15 時 参加者・菊池、伊藤、永井、古謝、伊勢崎、V.C. 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草 本			40	コメツブツメクサ	花
1	タチイヌノフグリ	実	41	ムラサキカタバミ	花
2	シロバナマンテマ	花と実	42	コナスビ	花
3	ツメクサ	花	43	トウバナ	花
4	カタバミ	花	44	キラソウ	花
5	カラスノエンドウ	実	45	ハマボッス	花
6	ヒナギキョウ	花	46	ナギナタガヤ	花
7	ヒメコバンソウ	実	47	ヒメクグ	実
8	オオアレチノギク	花	48	ヒメヨツバムグラ	花
9	トキワハゼ	花	49	イヌタデ	花
10	オランダミミナグサ	実	50	ツユクサ	花
11	オニタビラコ	花	51	ハコベ	花
12	ニワゼキショウ	花と実	52	ハキダメギク	花
13	コマツヨイグサ	花	53	イヌガラシ	花
14	ヌカススキ	実	54	フウトウカズラ	花
15	スズメノカタビラ	実	55	ヒメムカシヨモギ	種
16	コケミズ	花と種	56	コセンダングサ	花
17	ヌカボ	花	57	カスマグサ	実
18	イワニガナ	花	58	シロバナセンダングサ	花
19	アオカモジグサ	実	59	アシタバ	花
20	チチコグサモドキ	花	60	ギンギシ	実
21	タネツケバナ	花と実	61	オニノゲシ	花
22	ハハコグサ	花	木 本		
23	ドクダミ	花	1	カジイチゴ	熟した実
24	キツネノボタン	花	2	オオシマザクラ	未熟な実
25	ハナイバナ	花	3	ハチジョウイボタ	蕾
26	オオバコ	花	4	ヒメユズリハ	花
27	チチコグサ	花	5	ガクアジサイ	蕾
28	ヒエガエリ	花	6	ハゼノキ	花
29	コモチマンネングサ	花	7	ヤブニツケイ	花
30	シチトウスミレ	閉鎖花	8	モチノキ	実
31	ハルジオン	花	9	イヌビワ	花と実
32	セイヨウタンポポ	花	10	エノキ	実
33	チガヤ	花と実	11	イタビカズラ	花と実
34	ウスベニニガナ	花	12	タブノキ	実
35	スズメノヤリ	実	13	アカメガシワ	蕾
36	カニツリグサ	花	今回は顕花植物 74 種、他にシダ植物 24 種を観察しました。		
37	コケリンドウ	花	次回調査は 6 月 9 日（日）です。		
38	オオニワゼキショウ	花と実			
39	シバ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は「ニオイウツギ」にスポットを当ててみたいと思います。



ニオイウツギ *Weigela coraeensis* var. *fragrans*

スイカズラ科の落葉低木で、ハコネウツギの変種。伊豆七島に分布しています。

ハコネウツギより花冠が短く、香りがあって、白から薄紅色に色が変わります。5 月中旬より咲き始めます。

標高の少し高い場所に多いですが、町中でも見ることができます。

2003 6

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク 04:51 11:41 18:43 23:56	2 05:19 12:14 19:20	3 05:47 00:27 19:59 12:50	4 06:18 01:01 20:41 13:29	5 06:54 01:41 21:29 14:12	6 07:39 02:35 22:23 15:02	7 ガイドウォーク 08:44 03:50 23:20 16:02
8 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 05:23 06:44 10:25 17:11	9 00:14 06:44 12:23 18:25	10 01:03 07:44 14:00 19:36	入梅 11 01:45 08:33 15:15 20:40	12 02:25 09:19 16:18 21:35	13 03:05 10:03 17:14 22:24	14 ガイドウォーク 03:44 10:47 18:07 23:10
15 ガイドウォーク 04:24 11:31 18:56 23:53	16 05:05 12:15 19:43	17 05:47 00:35 20:26 12:58	18 06:30 01:19 21:07 13:41	19 07:14 02:05 21:45 14:23	20 08:03 02:59 22:23 15:05	21 ガイドウォーク 09:04 04:04 23:04 15:49
夏至 22 ガイドウォーク 10:31 05:22 23:48 16:41	23 12:26 06:38 17:46	24 00:36 07:37 14:07 19:03	25 01:22 08:24 15:15 20:14	26 02:05 09:03 16:06 21:11	27 02:44 09:40 16:48 21:57	28 ガイドウォーク 八丈学講座 「植物公園のシダ植物」 03:20 10:15 17:26 22:36
29 ガイドウォーク 03:54 10:50 18:02 23:11	● 30 04:28 11:26 18:37 23:45	この色の日は 特別行事があります				

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じよう
6/8 (13:30～ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員:15名

八丈学講座

「シダ植物観察」

毎月行っている八丈学講座。今回は、植物公園の中でシダ観察をします。
6/28 (13:30～ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員:15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2003.6.1 第25号

開館時間 9:00～16:30 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888

(ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます)

編集後記

八丈島では、昆虫で採集してはいけないものはいません。しかし、八丈富士のお鉢の内側は特別保護区ですから何も取ってはいけませんよ！落ち葉一枚でもダメ！（高）